



発行所  
〒371-0026  
前橋市大手町2-14-6  
Tel.027-221-2746  
E-mail  
mae-cato@pop17.odn.ne.jp  
Web  
<http://www.maecato.org>

# 赦されて生きる

御前 ザビエル 神父

ずいぶん前のことですが、1990年に公開された「フラットライナーズ」というアメリカ映画を見たことがあります。医大生のネルソンは死後の世界に強い興味を持ち、同じ医大生4人を誘ってある実験を計画します。それは人工的に心臓を停止させ、1分後に蘇生させることで、実際に臨死体験をするという危険なものでした。その実験のもたらしたものは何だったのでしょうか。

死後の世界の素晴らしい光景が見られると思っていたメンバーはわずかな時間で死

吟味すれば、ゆるしの秘跡の本質を理解することができます。ゆるしの秘跡は、自分の犯した罪を中心に告白するよりは、根本的に神の慈しみと憐れみを、「告白」するものです。この秘跡の中心は、やはり神の慈しみ、憐れみ、ゆるしです。

罪人であるわたしたちに対して、神の思いは、子どもが怠け者で勉強をおろそかにしていることなどでがっかりする親たちの思いとは違います。神は、わたしたちの罪を見つめるのではなく、罪によって苦しんでいるわたしたちを慈しみの眼差しで見つめてくださいます。知恵の書11章23節にあるように、「全能のゆえに、あなたはすべての人を憐れみ、回心させようとして、人々の罪を見過ごされる。あなたは存在するものすべてを愛し、お造りになったものを何一つ嫌われない。」ゆるしの秘跡は、罪を見ようとせず、罪人をゆるそうとする神との出会いであり、神の驚くべき憐れみを賛美と感謝する祈りの場です。

だ状態になった時、何を見たかという、それぞれの過去において、犯した罪の場面を見せられました。交通事故を起こしたり、女性をだましたり、学校で同級生をいじめたり、過去の自分たちの重大な罪に出会いました。迷惑を被った相手と再会して、やっと心を解放してくれるゆるしをいただけるシーンで終わります。ホラー映画なようにいて実は救済を描いた感銘を受けた映画でした。

わたしたちキリスト者は、臨終を待たずに、いつでも罪のゆるしをいただけることはとてもありがたいことです。特に、2月14日、灰の水曜日で始まる四旬節の間に改めてゆるしの秘跡を再発見しましょう。

一昔前は、「告解の秘跡」と呼ばれていました。すなわち、自分の犯した罪を、司祭を通して、神に告白すれば、その罪が解かれるという意味合いの言葉だったと思われま。今は、「ゆるしの秘跡」と呼ぶようになりました。表現の変更を



秘跡に与る準備として、先に犯した罪を思い起すよりは、まず神の寛容なゆるしに目覚めるように祈ります。神の息吹である聖霊の光を求めて、回心を呼びかけておられる神に、素直に心が開かれるよう、またイエスのゆるしを真心で信じ、望むように祈ります。

そして、神の慈しみと憐れみ、またイエスの癒しとゆるしを示す神のことばを選んでゆっくり読みながら味わいます。みことばの光によって、自分の犯した罪が明るみに出ます。もし、自分が特に罪を犯していないと思うならば、もう少し真剣に、みことばを読むことにします。きっと自分の今まで気がついていなかった罪が明らかになるでしょう。秘跡に与るときに、「回心を呼びかけておられる神の声に心を開いてください」という司祭の勧めの後、準備の段階で選んで味わったみことばを読むことによって、ゆるしの秘跡を豊かな祈りの場とします。

さらに、準備を進めて、読んだみこと

【2ページへ続く】

【1ページより続く】

ばの光を持って、神の目で自分を見させていただくことにします。生きておられる神の子イエスは、わたしを今、どのような目で見ておられるのでしょうか。イエスの眼差しで、自分のありのままの姿、生き方、考え方などを究明します。自分の犯した罪については、自己嫌悪におちいらず、できる限り、自分のうちに、神に背いたこと、人を傷つけたことで、痛悔の心をもつように、また、神の恵みによって、回心して、償いも考えて、準備を進めます。

ゆるしの秘跡の与り方については、細かく書けませんが、聖堂の後ろに置いてある「ゆるしの秘跡の小ガイド」を参考にしてください。

通常は個別にゆるしの秘跡を受けますが、共同回心式という形で受けることも勧められています。ミサ以外の時に、聖堂で集まって、神のゆるしを賛美して歌い、回心を呼びかける神のことばを聞き、自分の生活を神のことばに照らして反省し、各自が罪の告白し、赦免を受けた後、一同は主イエスの十字架と復活によってゆるしを与えてくださった神に、共同体としてともに感謝をささげます。共同回心式は、3月10日(土)16時より中央北ブロックで4人の司祭とともに前橋教会で行う予定です。ぜひご参加ください。

## 高瀬典之神父様 前橋教会 初ミサと 教会学校 子どもクリスマス会



【←高瀬典之神父様】

【教会学校 子どもクリスマス会→】

【↓ザビエル神父様との共同司式となった初ミサ】



## 降誕祭ミサ

2017年12月24日(日)の降誕祭夜半ミサは、19:00から、Sr.金子とSr.ロザリオによるクリスマスメッセージが日本語と英語で行われ、信徒以外の人にも分かりやすいお話がありました。そしてキャンドルサービスが行われ、ロウソクの明かりの中を、ザビエル神父様が幼子イエスの像を抱えて入堂、馬小屋に安置し、降誕祭ミサが始まりました。

ミサの後は、恒例の祝賀パーティーがアレルヤ館で行われ、入りきれないほど多くの参加者があり、クリスマスをお祝いしました。

12月25日(月)10:00から降誕祭日中ミサが行われました。また、ミサ後には、アレルヤ館でティーパーティーが行われました。

【12/24夜半ミサ キャンドルサービス】【12/24ミサ後 祝賀パーティー (3ページ上の写真↑)】



2017年4月29日に大宮教会において司祭に叙階された高瀬典之神父様の、前橋教会における初ミサが、2017年12月17日(日)にザビエル神父様との共同司式で行われました。

また、ミサ後には教会学校のクリスマス会が行われました。



## 前橋教会 新年会

1月28日(日)ミサ後にアレルヤ館にて、前橋教会の新年会が行われ、約50名が出席しました。

ザビエル神父様のご挨拶に続き、富澤隆さんの乾杯で新年会がスタート。お弁当と、有志からの数々の差し入れに舌鼓を打ちました。

ザビエル神父様の尺八演奏、石原さゆりさんのバイオリンの演奏、教会学校の歌の披露、そしてチーム対抗でクイズや福笑いなどが行われ、とても賑やかに新年会を楽しみました。

## 年越しミサと元旦ミサ

2017年12月31日(日)23:30より恒例の年越しミサが行われました。この年越しミサにおいて、年明けを迎える直前の数分前から沈黙のうちに祈り、年明けの鐘を合図に新年を祝いました。ミサの後、お汁粉が振る舞われ、夜遅くまで歓談が続きました。

元旦ミサは、11:00から行われました。ミサ後には茶話会が行われ、新年を祝いました。

年末年始の休暇、帰省されて久しぶりに再会する信徒の皆さんと共に賑やかに新年を迎えることが出来たことに感謝。



【↑ 石原さゆりさんによるバイオリンの演奏。『愛の挨拶』『ハンガリー舞曲第五番』】  
【ザビエル神父様の尺八演奏。『春の海』 ↓】



【↑ 深夜の年越しミサ】

【元旦ミサ後の茶話会。新年をお祝いしました。↓】



【↓ チーム対抗 福笑い】



## そのほかの行事

☆1月20日(土)前橋教会において、14:00から16:00、「さいたま教区 宣教・福音化年」の第8回学び合いが行われました。「信仰とは何か」をテーマに、シェガレ神父様を講師に迎え、行われました。

☆1月21日(日)ミサ後、教会学校・ボーイスカウト・ガールスカウト合同のもちつき大会が行われました。

☆1月27日(土)10:30から15:00、「群馬女性の集い」が伊勢崎教会において行われました。

2018 群カ身新年会 (2018年1月28日・渋川教会)



## 「さいたま教区 宣教・福音化年」 学び合い

これからの予定

第9回 2月17日(土)太田教会

講師 Sr.中島「信仰を生きるとは」

第10回 3月17日(土)高崎教会

講師 根津助祭

「宗教はなぜタブー視されるのか」

2月17日(土)午前10:00より  
カトリック所沢において  
さいたま教区『世界病者の日』ミサが  
教区管理者ペトロ岡田武夫大司教様の  
主司式で行われます。

## さいたま教区 四旬節青年黙想会

指導 ペトロ岡田武夫 大司教様

日時: 3月10日(土)~11日(日)

受付: 10:30

場所: カトリック春日部教会

対象: 18歳以上の青年

参加費: 500円

持ち物: 筆記用具、洗面道具、着替え、  
3月10日の昼食

申込、問合せ: カトリック草加教会 ルカ姜 神父

TEL 048-936-6760

FAX 048-936-8383

2月14日(水) 灰の水曜日

ミサ ①10:00~ ②19:00~

2月25日(日) ミサ後 信徒総会

3月10(土) 中央北ブロック 共同回心式  
前橋教会にて 16:00~

3月17日(土) フィリピン・グループ四旬節黙想会  
前橋教会にて 9:30~16:00

黙想指導 マキシム神父

3月18日(日) 主日ミサ後 四旬節黙想会  
黙想指導 本間研二神父(イエズス・マリアの聖心会)

